



せきね・さやか ●昭和57年2月生まれ。西山字水口在住。瑞厚生病院（埴町）勤務。趣味は雑貨集め。日々、笑顔を心掛けている。

鮫川村に住み始めて、はや五年が過ぎようとしています。住み始めたころお腹の中にいた娘も大きくなり、お姉ちゃんになりました。今は家族四人になり、毎日騒がしく忙しいですが、楽しい日々を過ごしています。こうやって前に進んでこられたのも、鮫川村に住んだおかげかなあなんて、この文章を書きながら思いました。

村民【随想】リレー — ①87

関根涼佳さん

ぽかぽかな愛情

生や保健師さん。悩みをとことん聞いて、励ましてくれる友人たち。子どもたちを見守り、温かい声をかけてくれる住民の方々：本当にたくさんの人たちに支えられて今日までこられたと思います。

門松や駅長ねこのお出迎え
寒入に合わせる如く寒波来
汚染水儘ならずして年迎う
お年玉孫の笑顔の正座かな
朝の居間座して一息白く吐く
降る雪や真砂女句集のことはじめ
着ぶくれて登校する子の布袋
初暦ボランティア日程書き入れる
初せりや袋の中でグーチョキパー
「今でしょ」の気構えもなく年迎う

短歌

土づくり冬田の施肥ににんまりと
微笑む如し畦の蒲公英
雑草を除き害虫も捕りやるわが畑
の夢を叶えて大根太る
体力を作ると云わる旬のものささ
げを籠に満たして帰る
還らざる親切なるとさりげなく周
囲にしつつ心明るし
確かなる声を聞きおり夢の中出て
来る亡夫のやさしがる影
幾十年作りつづけし田の総りかが
よう如し十六夜の月

民謡を次世代に歌い継いでいきたい

さめがわを 彩る集い 23



鮫川村渡瀬民謡会

大森茂会長 / 会員10名

鮫川村渡瀬民謡会は月二回、歌と三味線の講師である大滝栄二さん(埴町)と尺八演奏者の京條英征さん(巡ヶ作)を招いて練習をしています。民謡は人々の暮らしの中から自然に生まれ、歌い継がれてきたもので、楽譜はありません。教本には歌詞だけが書かれ、曲調などは先生から教わり、繰り返すことで身につきます。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します
鮫川村図書館 ☎ 29-1150

正妻 慶喜と美賀子 (上下)

(林真理子著、講談社)

「わしは将軍にはならん。どんなことになってもならぬつもりだ」。幕府と朝廷の関係が激しく揺れる幕末、京から江戸へ嫁いだ1人の姫がいた。公家の姫から「最後の将軍」の妻となった美賀子の生涯を通して徳川幕府の崩壊を描いた歴史小説。

アタマとカラダが冴える

東大おやつ教室

(東大料理愛好会著、新潮社)

現役東大生たちが考案した「能力アップおやつ」でおいしく受験に勝とう！おやつは我慢するものではなく、子どもたちの脳と健康の味方。食事では不足しがちな栄養素を補い、偏差値とやる気まで上げる驚きの51レシピ集。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

俳句

農という日のきびしさに耐えて来て
今やすらかな余韻に浸る
酔漬けて香をたのしまむ菊の花
今年も真黄に咲き誇りたり
靖国は日本の神内閣が参拝するに
言訳など要らぬ
初日の出家族揃って庭に立ち拜せ
ば深き絆を感じる
爽やかな初日に祈れば幸せの授かる
思えに心の和む
只独り齢かさねての幾年ぞ何故生きる
のか自問自答す
恙なく子や孫曾孫と新年を迎えられ
まず感謝一杯
年頭に願いを込めて筆を取りま
ずは健康第一として
元日の夜の満月薄雲に被われなが
ら地の雪照らす
又来るねもみじのような手を出し
てその手の温もり今も残れる
輝ける大地を照らしつ昇りくる初
日に幸の多かれと祈る
今年こそ気張って行くぞと仰ぐ空
エールのそそぐ輝く初日の
初春の明るい陽射しに誘われて香
り豊けし露の臺を摘む
里の春一つ増えたと宝物笑顔で集
う新年もまた
豊かなる暮らし続かむ願ひ込め家
族揃って初日に祈る

若者の広場 No.110

Young Plaza

関根拓也さん

■今、夢中になっていることは何ですか？

車いじりが好きです。同級生の友達に車好きが多いので、興味を持ちました。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

車いじりをしていて、まだ自分ではできない部分もあるので、友達に教えてもらってできるようになりたいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

鮫川村のいいところは、緑がいっぱいあるところだ

と思います。生まれたときからずっと住んでいるので住みやすいです。できれば、これからも鮫川村に住み続けたいと思います。

■鮫川村に要望などはありますか？

舗装されている道路が多いですが、まだ砂利のままの道もあるようなので、そこを直してほしいと思います。あとは、コンビニなどの店が増えれば、さらに住みやすくなると思います。

次は矢吹奈緒さん（赤坂東野宇遠ヶ竜在住）の予定です。

鮫川村は住みやすい場所



せきね・たくや
平成4年2月19日生まれ 21歳
O型 うお座
趣味は車いじり
西山字余所内在住

十二月六日、授業参観の一環として、箏曲演奏会を実施しました。文化庁・県文化センター主催の「ふくしま次代を担う子ども文化芸術体験事業」への応募がかない実現したものです。おいでいただいたのは、世界中で活躍し、

日本の遠藤千晶先生の琴にうっとり



十二月二日、青生野小学校に「キビタン」が来ました。震災以降、「ふるさと ふくしま」への誇りや愛着を育むため、希望した学校を回っているとのこと。子どもたちはキビタンに触れたり一緒に踊ったり、大興奮！ ふなっしーに負けないかわいさのキビタンに、大喜びの一日でした。

今年もウマく書けたよ！書き初め大会



一月十日、全校生での「書き初め大会」を実施しました。それぞれの課題を清書し、どの子も集中して取り組みました。そのあと、全校生が集まり鑑賞会を行いました。「とても、はねがしっかりできていて上手」「バランスが取れていてすごい」など、良い点を具体的に交流し、実りある学びの時間となりました。



(文・写真)青生野小学校

学校だより

(112)

青生野小学校編

青生野小にキビタンが来た

十二月二日、青生野小学校に「キビタン」が来ました。震災以降、「ふるさと ふくしま」への誇りや愛着を育むため、希望した学校を回っているとのこと。子どもたちはキビタンに触れたり一緒に踊ったり、大興奮！ ふなっしーに負けないかわいさのキビタンに、大喜びの一日でした。

寒さが厳しいこの時期、凍み大根を作るには最適です。約十年前から作っているという長井久男さんは、多いときは「手・まめ・館」に五千本出荷していました。また、学校給食に使われていたこともあり、大根を栽培している家庭では、凍み大根を作ることが多く、久男さんは親が作っていた

のを見て、作り方を覚えました。大根を洗ってから皮をむき、二つ割りにします。ひもを通して、ビニールハウスの中で約四十日間、しみさせてから天日乾燥させます。そのあと、ストーブの火力で三時間程度乾燥させて完成です。この火力乾燥をすることで、カビが生えにくくなり、夏までもつ

といます。「凍み大根作りで最も大切なことは、完全に乾燥させること」と話す久男さんのひと工夫です。「自家消費用だとしてこれまでやらないけど、商品として出すからにはある程度ポリウムがあつて見た目が良く、カビが生えにくく長持ちするものを出したい」と自分が納得したものを作っています。



「今回の大根は育ちが悪かった」と話す久男さん。しかし、スーパーに並ぶものよりも大きく立派です。

あなたの光る技 キラリ Vol.19



きれいに皮をむくこともポイント。皮が残っていると均等にしみないといひます。

凍み大根作り 長井久男さん

ながい・ひさお / 青生野字姿平 / 89歳

火力乾燥のひと手間を加えて 自分が納得できるものを